

# 電気事故速報（記載例）

令和4年9月2日

中部近畿産業保安監督部 近畿支部 電力安全課 御中

事業場の所在地 ○○県○○市○○区○○ ○丁目○番地  
事業場の名称 ○○産業株式会社 ○○工場

電気関係報告規則第3条の規定により報告します。

1. 事故発生日時 令和4年9月1日午前9時15分（令和4年9月2日15時覚知）

※事故の発生を知った日時（覚知日時）と事故発生日時が異なる場合は、両方併記します。

2. 需要設備 最大電力：500kW 受電電圧：6.6kV

発電所 出力電力： kW 連系電圧： kV

※需要設備、発電所のどちらかに記入

※需要設備の場合は最大電力及び受電電圧を、発電所の場合は出力電力及び連系電圧を記載します。

3. 事故が発生した電気工作物

高圧地中引込みケーブル（CVT E-T） ○○電気製 2003年製

※事故が発生した電気工作物を具体的に記載します。

（例）「キュービクル内受電用断路器」、「受電所内制御用トランス」、「高圧引込みケーブル」  
「高圧地中引込みケーブル」「パワーコンディショナ（PCS）」など。

※種別、製造会社、型式、製造年、使用電圧、数量など分かれば記載します。

4. 事故の種類 ①感電死亡事故 ②感電負傷事故 ③感電以外の死傷事故 ④電気火災事故

⑤物損等事故 ⑥破損事故 ⑦発電支障事故 ⑧供給支障事故 ⑨波及事故

⑩社会的影響が大きい事故 ⑪その他（ ）

※該当する事故に○印を入れる。事故が2つ以上にわたって発生した場合は、全ての事故に○印を入れます。（例えば、感電事故に伴い波及事故が発生した場合はそれぞれの事故に○印を付ける）。

5. 事故の概要（必要に応じ図面等を添付）

R4.9.1 9:15 事故発生

○○送配電棟○○変電所67G動作、CBトリップ

9:16 再閉路不成功

10:29 当事業所を除き再閉路成功

16:00 仮復旧し受電完了

高圧引込みケーブルで地絡した。

出迎え方式で、保護範囲外であったために波及事故となる。

（波及・供給支障事故にあっては、供給支障電力：1,220kW、供給支障時間：74分）

※報告者が知り得た範囲で記載します。記載内容については、

[1] 事故前の状況（全体の作業内容、電気工作物の使用状況等）

[2] 事故発生時の状況（被害者の作業内容・行動、電気工作物の損壊の状況等）

[3] 事故後の状況（被害者に行った処置、被害電気工作物の応急処置等）

について、時刻とあわせ簡潔に記載します。参考となる資料（単線結線図、受電室平面図、構内図等）がある場合はあわせて添付します。波及事故の場合は供給支障電力、供給支障時間（電力会社の営業所等へ照会すること）を記載します。

6. 被害者の情報（死傷者がいる場合に記入）

①性別：~~男・女~~ ②年齢：~~歳~~ ③区分：~~作業者（所属~~）・公衆

※死傷者がいる場合に記入する。死傷者が2人以上となる場合は全員分記載します。

7. 事故の原因

事故点はハンドホール内部であり、事故発生直後にハンドホール内部には水が溜まっていたことから、水トリーによる絶縁破壊で地絡事故に至ったと推定される。詳細な原因はメーカーに依頼して調査中。

※報告者が知り得た範囲で、事故の状況から推察される原因について記載します。

※今後の原因調査予定についても記載します。

8. 応急処置 高圧地中引込みケーブルの取り替え

※電気工作物の応急復旧等について記載します。

9. 復旧対策 未定

※本復旧の実施方法、内容について記載します。

10. 復旧予定日時 未定

※応急復旧、本復旧の日時（予定を含む）について記載します。

11. 主任技術者 所属：○○電気保安 ○○営業所 氏名：○○ ○○

選任形態：（選任）専任・兼任・許可 （外部委託）電気保安法人・管理技術者

※主任技術者の所属及び氏名を記入します。また、選任形態の該当する箇所に○印を入れます。

12. 報告担当者 所属：○○電気保安 ○○営業所 氏名：○○ ○○

連絡先電話番号：○○○-○○○○-○○○○

連絡先E-mailアドレス：○○○@○○. ○○. ○○

※報告担当者の所属及び氏名を記入します。

※連絡がとれる電話番号及びメールアドレスを必ず記入します。

報告先： 中部近畿産業保安監督部 近畿支部 電力安全課

電子メール：exl-kinki-denkiyiko@meti.go.jp

FAX番号：06-6966-6092 電話番号：06-6966-6056